

まえがき

「使っても、なくならない財産」が、 本当の財産だ。

財産には、2通りあります。

使ったらなくなる財産

使ってもなくなる財産

お金持ちになれない人は、使ったらなくなる財産を貯めようとしています。

お金持ちになる人は、使ってもなくなる財産を持っています。

私は「そんなに本を書いて、ネタがなくならないですか」とよく聞かれます。

たくさん書けるのは、使ってもなくなる財産を持っているからです。

ネタは、1回使ったらなくなる財産です。

でも、「ネタの見つけ方」は、一度手に入れたら、なくなることはありません。

私は、無限にネタが湧いてくる油田を掘り当てたのです。

実際の油田は、いつかは埋蔵量が尽きます。

知恵は、尽きることがありません。

使ってもなくなるしない財産なのです。

あなたの今持っている財産を棚卸たなあきしてみましょつ。

使ったらなくなる財産と、使ってもなくなるしない財産に分けてみるのです。

あなたが今、持っている「使ってもなくなるしない財産」が、本当の財産です。

使ったらなくなる財産は、「財産」とは呼びません。

使ってもなくなるしない財産は、目に見えにくいものです。

自分がいったい何を持っているのか、なかなかわかりません。

他人にも評価されません。

銀行の預金残高とは違って、数字には出にくいものなのです。

人はどうしても、使ってもなくなるしない財産よりも、使つとなくなる財産に目を

奪うばわれがちです。

これでは、ますますお金持ちになれないのです。

使ったらなくなる財産は、貯めても結局なくなります。

使ったらなくなる財産を、使ってもなくなる財産に切りかえていくのです。

使ったらなくなる財産を、使ってもなくなる財産にスライドしていくと、見た目の財産はなくなります。

たとえ預金通帳の数字が減っても、あなたの財産が減ったことにはならないのです。たとえば、手に職をつけるために習い事をするします。

その習い事のために、今まで持っていた貯金を使います。

見た目には、貯金は減りません。

でも、あなたの体の中に、目に見えない財産としての技術が残ります。身についた技術は、何回使ってもなくならないのです。

「こつこつという企画があるのですが、アイデアを貸して下さい」と言われて相談にのります。

この時、相談にのっても、あなたの知恵が尽きるわけではありません。

もの考え方を身につけた人は、どんなに人にアイデアをあげても、それでアイデアがなくなるわけではないのです。

それが本当のアイデアです。

「誰かにアイデアをあげたら自分の分が減ってしまう」と考える人は、本当の意味でのアイデアを持っていないのです。

アイデアは、人にあげればあげるほど、返ってくる量も多くなるのです。

アイデアは、「使ってもなくならない財産」です。

友達に「ごちそうしてあげると、目に見えるお金はなくなります。

でも、友達という財産が残ります。

友達は、「使ってもなくならない財産」です。

使ってもなくならない財産は、使えば使うほど増える財産になるのです。



その①「使ってもなくならない財産」を、
持つ。